

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	スタッフ全員で意見を出しあい、GH大山崎独自の理念を作ったが一年が経過し、見直しを行っている。より地域に密着した内容となるように、地域の方々とも共有できるような内容を考慮していく。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員はミーティングやカンファレンスを通じて理念の共有を行い、理念の実践に向け、努力している		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の催し物に極力参加して行くと共に、GHにも地域の方々を招き入れ、利用者様、ご家族、地域の方々が共にのんびり過ごせる雰囲気作りを実行している		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出た時や、スロープに出ている時など、地域の方々への挨拶を心がけている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や、子供会の古紙回収への協力、小学校の運動会見学など積極的に実行している。また地域ボランティアの受け入れも行っている		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者の勉強会に職員が参加し、地域の高齢者と触れ合う機会を作っている。また入居相談なども随時受け入れている</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価及び外部評価の実施・評価をうけ、客観的に自施設を振り返ると共に運営面やケアを見直す機会となっている</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に1度実施され、GHの現状報告や今後の活動における相談を行い、意見を頂いている。また、地域包括支援センターの職員様や町役場の方から地域の情報も頂いている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当者が向かいのヴィラ大山崎を尋ねられた際、GHにも寄られたり、GHの職員が町役場を訪ねるなど、日頃から関わり、意見交換が出来ている。また、乙訓のGH連絡会にも出席している</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度を利用している利用者様が1階には2名おられ、個々の生活の支援にご協力いただいている</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>介護支援部からの資料や行政からの資料をもとに勉強会を行ったり、各自研修に参加するなど、虐待防止について学び、防止に努めている</p>		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>面接や電話対応により十分な説明を行い、不安や疑問点を解消し、納得していただいた上での契約となっている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の意見や不満・苦情が寄せられた場合は迅速に解決、対応出来るように努めている。またその内容を所定の用紙に記入する事で全職員の周知徹底を図り、活動に反映させている</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族のご面会時に報告を行っている。遠方や仕事忙しく面会が難しい時は手紙や電話で報告するように努めている。金銭面では出納帳を作成し、毎月末に家人に報告している</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の意見や不満、苦情について、直接職員に申し入れがあった場合は迅速に対応出来るよう努めている。また、GH玄関に苦情箱を設置して家族の意見をくみ上げる努力をしている</p>	<p>○ ご家族がより意見を出しやすいように、率直な意見の回収のため、無記名アンケート、満足度評価を定期的に行っていく</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングやカンファレンスを通じて意見を吸収すると共に、日頃からコミュニケーションを図り、意見交換の場を設けている</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>その時々状況に応じて勤務の調整を柔軟に行っている</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動時などはその影響が最小限になるよう人数やタイミングを配慮している。日頃から他フロアの利用者様との関わりを持つように全職員が心掛けている。また、離職を減らせるよう、職員同士の飲み会などを企画し交流の機会を作っている</p>	

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設長が各職員のレベル、必要性に応じて年間の研修計画をたてて、各研修への参加、レベルアップを促している</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>全老施協、府老協に入会し、他法人との情報交換を行ったり、研修会、勉強会に参加している。またGHとしてもGH協議会に入会し、意見交換や研修の場としている</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日頃からコミュニケーションを大切にしている。また洛和会全体として、EAP相談室を活用している</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各職員の勤務状況・勤務態度を管理者の報告などを通じ把握している。また年二回の個人面談を実施し、本人の希望などを自己申告に基づき把握している</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談から契約に至るまでは介護支援部の入居相談員が対応し、不安や希望について細かく相談に応じ対応している。またGHの職員も見学などを受け入れ、相談にのっている</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご利用者ご本人同様、相談からご利用に至るまで、こまめに連絡をとり、相談にのるなど、信頼関係構築に努力している</p>	

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族のニーズを把握した上で、他サービスの説明も含め、その状況に適した対応に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご利用前にご家族と共に見学していただいたり、出来るだけ住み慣れた環境作りに心掛け、自宅などで使用されていたなじみの家具等を持ち込んでいただく工夫をしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常の関わりの中で、昔の習い事が役立っているからと薦められたり、生活の知恵を教えていただいたりする	○	残された能力や個性を尊重し、少しでも長く共に助け合える関係を継続していく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の近況報告をこまめに行い、共に利用者様のGHでの生活を支えていただいている。また家人参加の行事も取り入れ、コミュニケーションが図れている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時には共に過ごしていただく時間を大切に、良好な関係が続くよう、職員も雰囲気作りに努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの方の面会もあり、利用者様から電話をかけられる事もある	○	なじみの場所への外出を企画し、実行していきたい(個別外出)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士で励ましあったり、会話したり、仲間意識がめばえよ関係がきづけている。また職員も会話に入るなど仲間作りに貢献している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ヴィラ大山崎に入所された利用者様には時々面会に行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケース記録や連絡帳を活用し、利用者様の希望を把握し、出来る事は実行している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時のアセスメントやセンター方式、ケース記録を活用し把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に利用者様の状態を総合的に把握し、その変化に合わせて、関わりを変えていけるよう努力している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	勉強会やミーティング・カンファレンスを行い、家族の意向や往診ドクター、訪問看護師の意見もケアプランに反映している	○	ご本人やご家族、医療関係者もケアカンファレンスに参加していただけるよう呼びかけていく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に6ヶ月に1度、ケアプランの見直しを行う。モニタリングは3ヶ月に1度行い、必要があればケアプランの見直しを行う。また、入院など利用者様の変化が生じた場合は、その都度ケアプランの更新を行っている		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアプランの実施、気づきなどを記録し、ケアプランの見直しなどに役立てている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	定期受診や買い物など、ご家族の状況に応じて、職員が代わりに対応する事も多い		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア受入や小学生の慰問や消防訓練など協力して支援できている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在その様なケースはないが必要に応じて支援できるように地域のケアマネジャーなどに相談していく		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	二ヶ月に一度の運営推進会議にて地域の方々との意見交換の場を設けている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	GH入居前からのかかりつけ医の往診やご本人やご家族の希望された医師の往診受入をしている。また訪問看護との医療連携も結んでいる		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様への言葉使いなど、一人一人の利用者様を尊重した対応を心掛けている。個人情報の取り扱いについても慎重に行っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何かを行う時には必ず利用者様に確認をし、同意を得てから行動している。1対1でかかわる事により、利用者様の本心を引き出すようにしている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースでなく、利用者様のペースにあわせ、希望などには迅速に対応している。無理な時には理由を説明し納得を得ている	○ 出来る限り、利用者様の希望にはすぐに対応していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ビューティーヘルパーが定期的に来設。又希望により、近所のなじみの理髪店へお連れしている。化粧をしている利用者様もいらっしゃる	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に調理や配膳などを行っている。また広告などを見ながら、食べたい物はないかなど利用者様の意見を聞き、買い物をしたり、メニューを決めたりしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人が望まれるおやつや食べ物を提供できるよう、日頃から用意している。また、お酒を飲まれる方にも提供している	

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご本人の排泄リズムを把握し、定期的におむつ交換やトイレ誘導を行っている。排泄リズムはチェック表で職員全体が把握している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	出来るだけ利用者さんの希望により入浴して頂いているが、特に希望がない方などは職員からお誘いし、気持ちを引き出すようにしている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	定期的にシーツ交換や布団干しを行い、寝具を清潔に保っている。また毎朝居室の換気を行っている。眠れない方には眠くなるまで傾聴したりしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活では食事や洗濯などの家事、花の水遣りやカメの餌やり、新聞とりなど各利用者様に合った役割を持って頂いている。またエレクトーンや生け花等の趣味を楽しみにしている方も居る		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物希望時はなるべく本人様と一緒にいる。出来る限り購入や支払いはご本人様が出来るように支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩、喫茶など出来るだけ外に行けるように支援している。希望時にいけない時はその理由を説明し、時間や日を変更して頂いている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事計画として組み入れ、実施している。行き先やしたい事などは1人1人の利用者様に職員がアセスメントをとっている		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時にはいつでも電話できるように支援している。手紙も書かれたら一緒にポストに投函しにいっている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来て頂き、食事や宿泊もされている。職員も快く出迎えるようにしている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在拘束は全く行っていない。研修や勉強会などを行い、職員の意識の統一を図っている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵はかけておらず、自由に出入りができる		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者様によってさりげない見守りや付添いを行っている。夜間も基本的に0時、3時、6時の巡視をしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	リビング、居室共にその方の状態に応じて物品の配置を換えるなど工夫している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各利用者様の状態の把握、認知症についての理解を深めると共に、日頃の見守りにて事故防止に努めている	○	日頃から、事故を想定した訓練を定期的に行っていく

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルの周知徹底を図っている。また全職員が救急救命講習を受講していく運びとなっている	○	講習の復習やマニュアルの見直し、事故を想定した訓練を繰り返し行っていく
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	二ヶ月に1度、消防訓練を行い、日頃から災害に備えている。地域の方々にも救命救急の訓練などに参加呼びかけをしている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族の面会時などに日々の生活、心身の状況について説明している。また、転倒や		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期的にバイタルチェックを行い、体調の変化に気付ける様にしている。なんとなく感じる様子の変化なども職員で共有し、主治医や訪問看護師に相談するなど指示を仰いでいる		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の服用している薬について服薬一覧表と与薬チェック表を作り、薬の内容理解に努めている。また与薬マニュアルを周知徹底し誤薬を未然に防げる様にしている。薬情を処方ごとにチェックする事も行っている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝食時にヨーグルトを提供している。果物や野菜、海藻類など繊維質の食材を献立に入れるよう工夫している。また、運動の機会や水分摂取などにも配慮している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きやうがいを薦めている。またご自身で困難な方には職員が介助にて残渣物を取り除くなど、介助している。また必要な方には、週に1度、訪問歯科の往診や歯科衛生士の口腔ケアを受けていただいている		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ヴィラ大山崎の管理栄養士を招いての勉強会など、日頃からメニューのバランスについてチェックしている。また1人1人の状態に応じた形状や量の提供を行っている。水分量も十分に確保できるよう定期的な水分補給を行っている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種の実施や感染防止マニュアルの周知徹底を行っている。また感染症についての新情報や対応の指示が随時介護支援部から全職員に指示される		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所のまな板や包丁のハイター消毒を毎日行い、食器も食器乾燥機にて高温乾燥している。台所周りの清潔保持や調理器具の整理も心掛けている。食材も新鮮な物を使い、作り置きはしない		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りの清掃を心掛け、プランターなどに季節の花や野菜などを植え、利用者様と共に世話するなど、心やすらぐ雰囲気作りに努めている	○	ガーデンスペースのリフォーム
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングに季節の生け花を飾ったり、玄関の憩いのスペースで自然の光を浴びてもらおう工夫をしている。レースのカーテンを利用し、室内にもやさしい光を取り入れている	○	利用者様が見たい番組がなくても一日中テレビがついている事があるので、食事時以外にもテレビを消す時間を作りたい。職員同士の会話の声の大きさも配慮していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのときの気分に応じ、居室でのんびりと過ごしていただいたり、リビングで過ごしていただいたり、外のガーデンスペースで過ごしていただいたり、自由に選択できるようにしている		

洛和グループホーム大山崎(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のなじみの家具等を持ち込んで頂くなど、居心地の良い環境作りに努めている。また家具の配置などもご本人やご家族と相談し決めている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を気につけ、ドアの開閉や換気扇の使用を心掛けている。また、温度差の激しい時期にはエアコンや衣服、寝具などにより、調整を行い、温度差に配慮している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビング、トイレ、浴室には、手すりを取り付けられ、転倒防止に配慮している。過剰な介助は行わず、さりげない見守りと介助を心掛け、出来る事はして頂けるよう努めている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の能力、状況を職員が理解し、出来る事・出来ない事をその都度見極め、失敗のないよう、さりげない介助を行っている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関の花を見たり、日向ぼっこをしたり、野菜の世話をするなど、楽しんでいただける環境作りを心掛けている		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム大山崎(1階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の生活支援の中で、利用者様の変化や状況の変化に随時対応できるよう月間活動目標を定め、実施している。職員のやる気にも反映している。目標月だけでなく、活動は継続していければ良いと考える。また、GH全体として毎食後の口腔ケア実施に向け努力している。